



## 27 帝釈天

藤原成親の信仰した帝釈庚申天を祭祀(西花尻491)



随神門 平成20年(2008)撮影



地元では庚申堂を帝釈天と呼んでお詣りしている。60日に一度回ってくる庚申の日に、三尸の虫が体内から抜け出て、天帝に悪口を言い早死にさせる。それを防ぐために、帝釈天を祀り飲食を共にして夜をあかし、日の出を拝んだ場所である。

平成20年頃まで階段途中の随神門に、長さ10m程もある立派な藁製の双龍があったが今はない。

山は庚申山と呼ばれ、本堂の他に鐘楼、帝釈天の露座立像、宝暦13(1763)年銘の大覚大僧正の塔などがある。

### 拝殿



鬼神帝釈天の露座立像



## 帝釈天縁起

平清盛全盛の1177年(平安時代)、平家討伐企ての罪で当地に流刑となった藤原大納言成親を、ふもとの正法寺に祀った。後に成親の信仰していた帝釈天庚申信仰の場となった。正法寺には藤原大納言成親を弔い、外には帝釈庚申天を祭祀して現在に至る。

- 1755年～1762年 庚申山、山頂に帝釈天を移す
- 1773年 二天門、210段の石段、梵鐘完成
- 1950年(昭和25年) 大東亜戦争に供出の梵鐘再建
- 1955年(昭和30年) 鬼神帝釈天の大立像建立  
(正法寺門前の縁起板より)

5 正法寺を参照

## 石段・拝殿・本殿



## 石段手摺建設碑

昭和三十七年三月三日石段手摺り建設  
当山三十番日鳳代 横野寅一  
参起人妹尾町 外一同



幅220×高さ730

## 手水鉢



## 辻姫龍神 幅490×高さ1030、台座:820角×高さ820

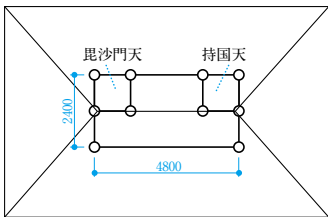


「辻姫龍神(つじひめりゅうじん)」は、龍神や姫神が庚申信仰と結びついて辻や村境に建てられ、悪霊や災厄から地域を守る役割を担ってきた。裏面には「日鳳代」の銘がある。

## 庚神池改築碑 幅460×高さ1240



随神門



令和7年(2025)撮影



随神門平面図

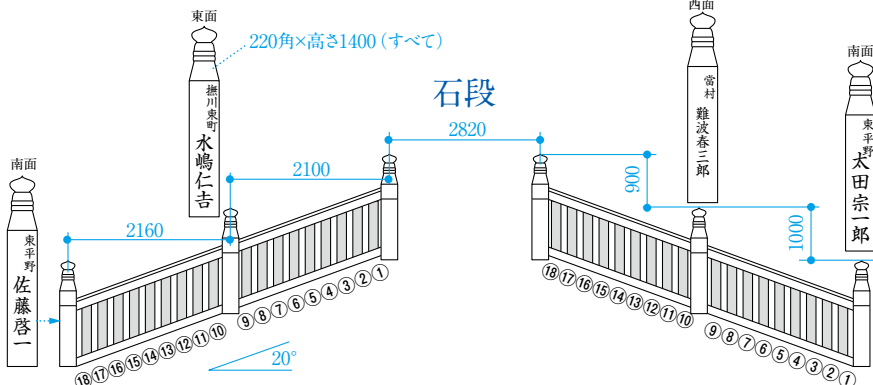
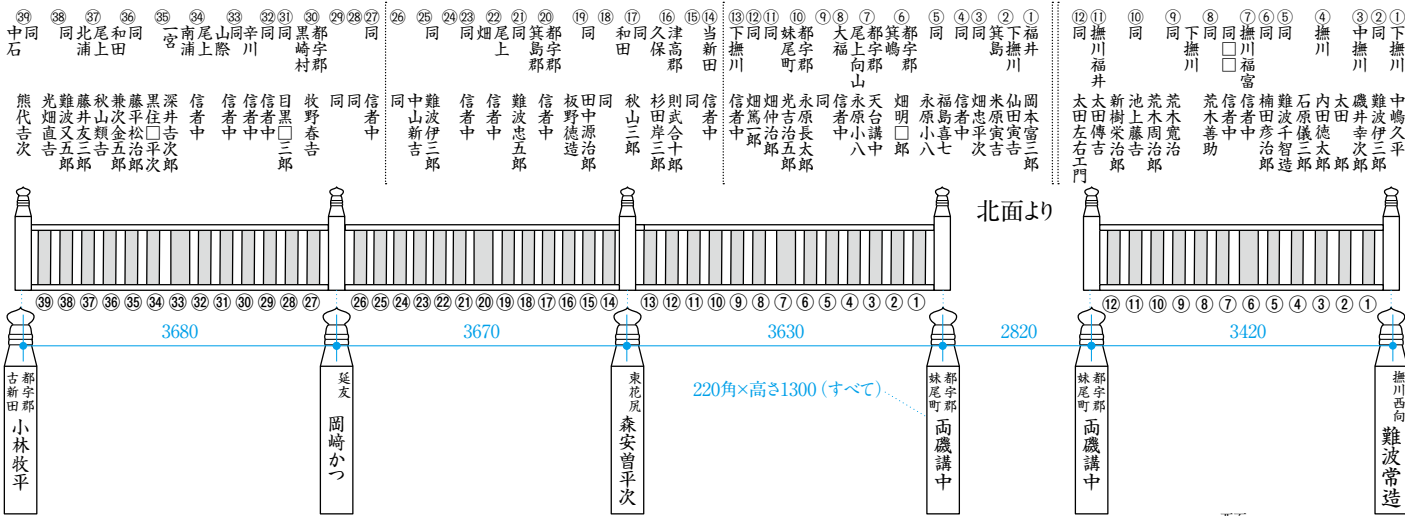
随神門内 毘沙門天-阿



持国天-畔



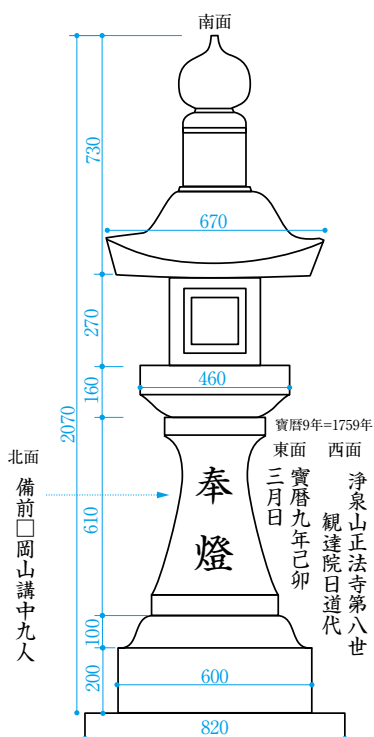
玉垣



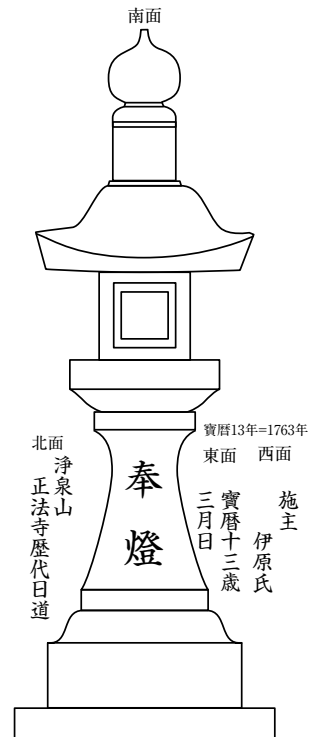
- 18 同 39 同 石 38 同 37 同 36 同 35 同 34 同 33 同 32 同 31 同 30 同 29 同 28 同 27 同 26 同 25 同 24 同 23 同 22 同 21 同 20 同 19 同 18 同 17 同 16 同 15 同 14 同 13 同 12 同 11 同 10 同 9 同 8 同 7 同 6 同 5 同 4 同 3 同 2 同 1 同
- 39 同 石 38 同 37 同 36 同 35 同 34 同 33 同 32 同 31 同 30 同 29 同 28 同 27 同 26 同 25 同 24 同 23 同 22 同 21 同 20 同 19 同 18 同 17 同 16 同 15 同 14 同 13 同 12 同 11 同 10 同 9 同 8 同 7 同 6 同 5 同 4 同 3 同 2 同 1 同
- 39 同 石 38 同 37 同 36 同 35 同 34 同 33 同 32 同 31 同 30 同 29 同 28 同 27 同 26 同 25 同 24 同 23 同 22 同 21 同 20 同 19 同 18 同 17 同 16 同 15 同 14 同 13 同 12 同 11 同 10 同 9 同 8 同 7 同 6 同 5 同 4 同 3 同 2 同 1 同
- 39 同 石 38 同 37 同 36 同 35 同 34 同 33 同 32 同 31 同 30 同 29 同 28 同 27 同 26 同 25 同 24 同 23 同 22 同 21 同 20 同 19 同 18 同 17 同 16 同 15 同 14 同 13 同 12 同 11 同 10 同 9 同 8 同 7 同 6 同 5 同 4 同 3 同 2 同 1 同



石灯籠(西側)



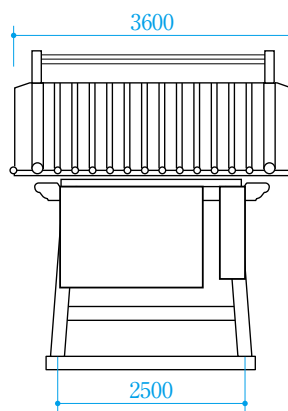
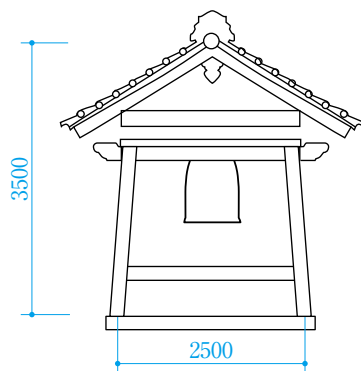
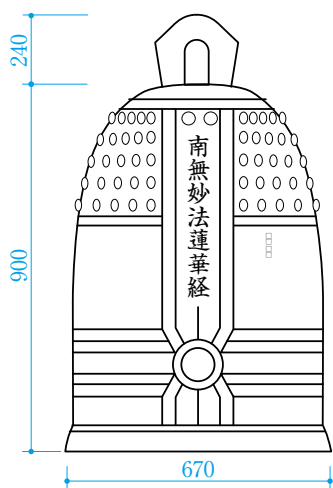
石灯籠(東側)



梵鐘



鐘楼



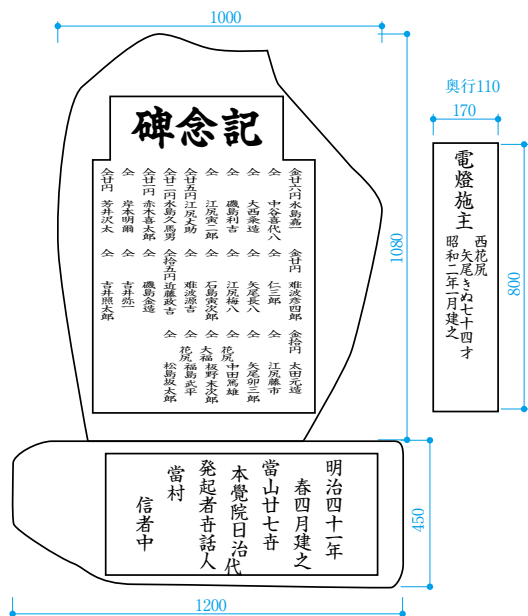




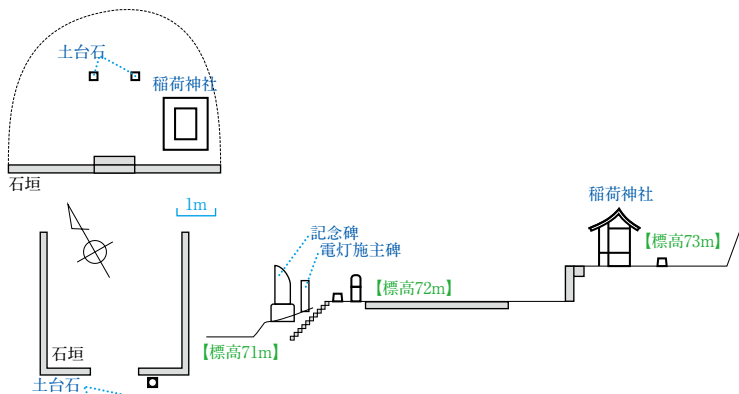
## 電燈施主碑・記念碑



金廿六円 水島嘉一  
金廿円 中谷喜代八  
金廿円 大西桑造  
金廿円 磯島利吉  
金廿五円 江尻寅二郎  
金廿二円 江尻大助  
金廿二円 水島久馬男  
金廿二円 赤木喜太郎  
金廿円 岸本明爾  
金廿円 芳井沢太  
金廿円 難波彦四郎  
金拾円 太田元造  
金拾円 江尻藤市  
金拾円 矢尾長八  
金拾円 石島梅八  
金拾円 石島寅次郎  
金拾円 難波源吉  
金拾円 近藤敦吉  
金拾円 磯島金造  
金拾円 吉井弥一  
金拾円 吉井照太郎  
金拾円 難波彦四郎  
金拾円 太田元造  
金拾円 江尻藤市  
金拾円 矢尾長八  
金拾円 石島梅八  
金拾円 石島寅次郎  
金拾円 難波源吉  
金拾円 近藤敦吉  
金拾円 磯島金造  
金拾円 吉井弥一  
金拾円 吉井照太郎



## 稲荷神社 本殿幅580×奥行790×屋根高さ1500



## 井戸碑 幅230×奥行160×高さ1300



昭和二十七年四月八日  
大荒行淨財ヲ持テ  
当山三千代日風此ノ井  
戸ヲ談リ寛永年間ノ  
心願ヲ達成ス

寺總代 森安櫻一郎  
難波常一郎 江口親志  
熊代輝雄 熊代熊太郎  
吉井弥市 熊代信一  
近藤依太郎 熊代猛  
太田龍太郎 熊代練五郎

中谷貢一

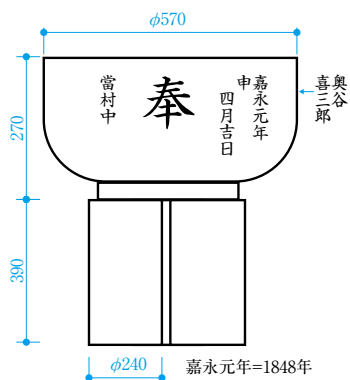
## 茶舗建立碑

幅220×奥行190×高さ1760



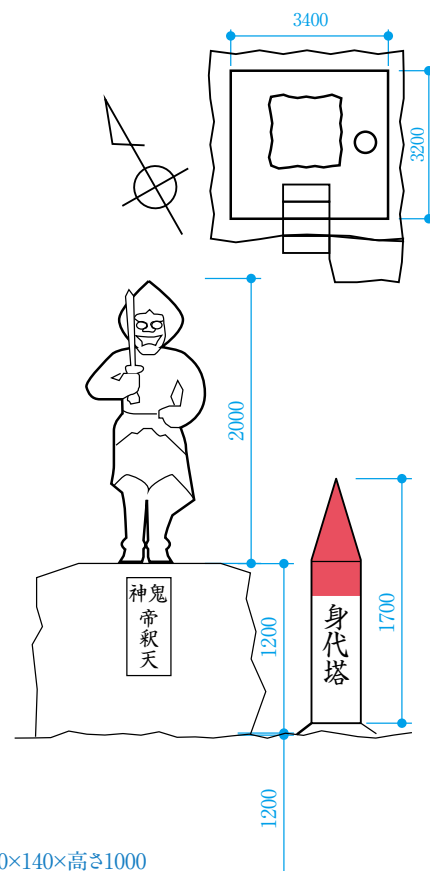
静岡 竹若堂茶舗建立

## 線香台





## 鬼神帝釈天の露座立像



大阪市田辺精妻サク善根者

大阪市田辺精妻サク善根者

190×140×高さ1000

善根＝仏語。よい報いを招くもとなる行為。また、さまざまの善を生じるもとなるもの。(デジタル大辞泉)

## 白吉龍王

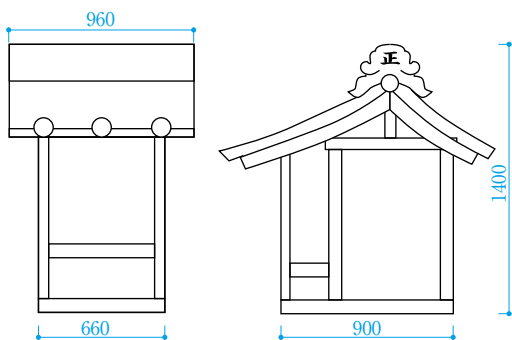


幅190×奥行140×高さ1540

奉紀 白吉龍王

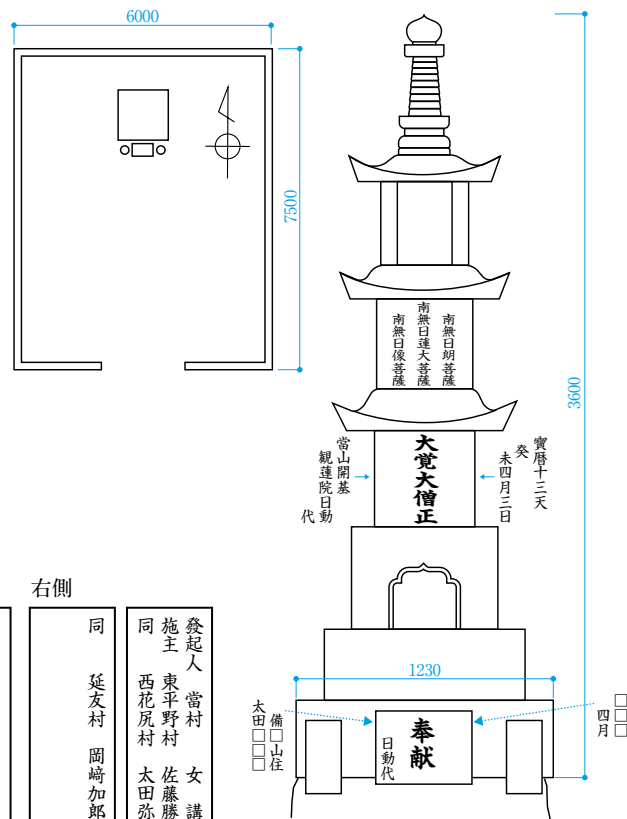
白吉龍王＝白吉龍王大善神

愛知県名古屋市中区の長壽山本住寺で祀られている龍神で、五行思想における「五龍神」の石柱、西方を守護する白龍神として信仰されている。





## 題目石



親柱② 160×150×高さ500 柱間隔2m



左側			右側		
明治廿五年 旧五月吉辰日	同	川入村	同	延友村	岡崎加郎
	同	庭瀬村		同	西花尻村
	同	西平野村		同	東平野村
	同	高木久太郎		同	佐藤勝次郎
		太田嘉之助			太田弥平治

親柱① 160×160×高さ600 柱間隔2m



左側		右側	
世話方 米屋	大嶋八九左工門	奉 寄進 庄町 信者中	安政五年戊午年八月
	難波小平治		
	野崎金左工門		
	太田助内		

## 神社 本殿幅2100×奥行2700×屋根高さ4000



線香台 370×210×高さ350

世話人
-----



幟立石柱 130×100×高さ860

明治三十八年六月建之
------------

